

認知症高齢者グループホーム評価表

(自己評価)

法人名 : 有限会社 ミキ

グループホーム名 : グループホーム三亀(もみじ)

ユニット数 : 2 ユニット

総定員 : 18 人

総実員 : 18 人

グループホーム所在地 : 大津市別保3丁目1-24

サービス向上委員会名 : サービス向上推進チーム三亀

評価の責任者 職・氏名 : ユニットリーダー 渋谷 幸代

評価年月日: 20年 10月 31日

前回評価年月日: 19年 10月 31日

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「ゆっくり暮らそ。」「楽しく暮らそ。」「元気に暮らそ。」 地域の中でその人らしい暮らしのサポートを受けながら共に生活を継続している。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域で普通の生活を送るためにわかりやすい、わかってもらいやすい理念にて皆が共有し実践している。理念を掲示している。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	誰でも見られる所に表記し、入所時それぞれ御家族にも伝えている。地域の方にも推進会議や地域交流の場などで理解頂けるよう伝えている。		
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩等、日々の生活の中で声かけや挨拶をしている。施設内行事の時は事前に連絡を取り合っている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、お祭り、地蔵盆等に参加し、交流に努めている。 月一回の自治会館でのふれあいサロンに利用者と共に参加している。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	2ヶ月に一度地域の方との運営推進会議を開催し事業所の見学及び行事参加を実施。地域から職員として勤務頂いておりホームの存在を広め認識してもらっている。		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ご家族様、地域の方のお話を傾聴し、出来るだけ細やかな対応が出来るよう努力している。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催し議事録も残して今後のサービスや生活、レクリエーション、消防訓練等に見直しをしている。また、先の外部評価結果をみて頂き、双方共に地域との関わりが課題であることに気づき、前向きな関わり方の必要性を認識して頂けた。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連絡を図り、グループホーム協議会等にも積極的に参加し、地域の認知症ケアの向上に向け協働している。周辺地域の諸施設との連携を図っている。雇用能力開発センターを通じ、実習生の受け入れも行う事でQOLの向上に取り組んでいる。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修を受けたり、資料を読んで常に意識を持ち、職員にも話している。必要な人がいれば支援を行っている。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	全職員が常に意識をもつよう話しあっている。又、社会問題となった事などについては記事の回覧をしている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-4. 理念を実践するための体制			
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	わかりやすく説明を行い、納得、安心が得られるような支援を行っている。契約書、重要事項説明書にも明示。入退居時援助も図っている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見を言いやすいように、こちらから問いかけをしたり、言いやすい雰囲気作りを心がけている。食への楽しみから献立を考える時は入居者の意見を取り入れている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	個々の入居者様の様子や変化について面会来所時やそれ以外は電話などで細かく報告をしている。写真を撮ってアルバムを作り見て頂き、日々の生活をわかってもらえるようにしている。		
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見書箱の設置をしている。苦情処理簿で管理している。重要事項説明書に明示している。面会時や電話などで家族との連絡を密にし、何でも話して頂ける関係を作っている。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を反映させている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の生活状況に応じた無理のない職員の勤務体制を組んでいる。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事例が発生した時はある程度時間をかけて交替が行われるよう配慮に努めている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-5. 人材の育成と支援			
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会、協議会、交流会など積極的に参加するようにしている。研修報告により共有・把握しスキルアップを図っている。日常的に行われているケア等の各場面ごとに随時助言等を行っている。ホームの理念に合った資質を有する人材の確保、育成にあたっている。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海グループホーム協議会に加入し出席。研修会への参加も管理者と職員がその機会を活かし積極的に情報交換するようにしている。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個々の職員と話を聞く程度ではあるが管理職員が解消に対応している食事会を行っている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ケアサービスの質の向上に熱意を持ち、共に理念の実現に向けて取り組んでいる。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人様や家族様の思いをよく聞き、出来るだけ早くホームに馴染んで頂けるよう暖かい雰囲気作りを心がけている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	どんなことでも話して頂ける雰囲気作りをし、時間をかけて傾聴し解決方法を一緒に考える。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当施設(ホーム)での受け入れが困難な場合は他を紹介している。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	常に入居者の状態が把握できるように記録、調理等見守り声かけできる所に位置づけている。地域や入居者に馴染みの季節行事を通じ、家庭的な雰囲気を楽しむ支援から馴染めるよう支援している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	体を動かす事を考え朝の日光浴、手先を動かして縫い物をしたり絵を書いたりお野菜を作って楽しんでいただいている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	生活の中での変化等を電話等で連絡。又面会時、御家族と現在の状況等を報告している。(時には御一緒にお茶等して)		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御本人が希望を職員に言って来られたり日常生活の様子を見ている中で必要と思われる面会をお願いしたり連絡をとっている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	馴染みのある持物や衣類等を持込していただき、少しでも自宅での生活に近い雰囲気を作っていただけ様心がけている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一緒に生活全般にわたり参加出来る事には拒否がない限り参加していただいている。共に助けてもらったり教えてもらったり支え合って生活できる支援を行っている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用の間に培われた関係を大切にし退所後も相談、支援させて頂いている。来ホームもして頂いている。		

新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

		Ⅲ-1. 一人ひとりの把握			
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的にモニタリングをしたり又、本人様の意見を聞いたりして個別ケアに心がけている。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事調で本人様や家族様から聞き取った情報や、又入居後知りえた事も文章化などで職員に提供している。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケアマネも常にスタッフと同じ業務につき、本人様の状態を把握している。		

一人ひとりの把握 3項目中 3項目

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日入居者様と行動し、本人様の思いをくみとり又、面会時や電話で家族様の意見を聞き、職員の気づきもと入れ計画作成している。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化などで計画変更の必要があれば家族様等と相談して計画を変えている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録できている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	嘱託医との連携体制で利用者にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援等を受けながらの生活の継続と外出の支援、移送サービス、外泊支援等行っている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア訪問や消防の協力又、図書館等を利用し、支援している。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	テストケースとして、他の施設(デイサービス)を訪問利用している。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護等の支援必要な方が有れば相談に行く。概ね2ヶ月に1回来ホーム頂き、情報交換などによる連携を図っている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期回診時の情報提供は当然であるが、それ以外にも密に連絡をとり、信頼関係を作っている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入居前から専門医を受診しておられる方は継続して受診支援をし、又、入居後の気づきによりホーム医に上申後専門医の受診支援をしている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者に心配な事があれば看護有資格者に相談したりして健康状態について家族に月1回程度連絡し健康管理情報を共有している。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中もたびたび病院訪問し医師やナース、家族様と連絡を密にし早期退院を支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所問い合わせ、入所時に家族へきちんと方針を伝えている。医療連携加算導入時に、利用者家族に終末期のアンケートをとっている。入居者の心身の状態に異変が見られた時は家族に連絡を入れ、家族の意向を聞き対応している。状態変化に対して関係者と早期から対応の方向性について話し合い家族の合意を得て支援を行っている。		
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族様の意向を聞き、主治医に相談し職員で当ホームで出来ること出来ないことを決め、対策を考えている。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族の了解を得て、次の関係者情報を提供する。出来るだけ本人様の住環境が変わらないよう依頼する。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	個人情報や記入した書類の取り扱い方やケース記録の記入について配慮している。又、共同生活であってもプライバシーに配慮した声かけをしている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様の理解力にあわせて説明をすることや過去の生活を知り、生きがいを持って生活できるよう何でも話せる雰囲気作りをしている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々に入居者様の体調や気持ちを把握し、個人のペースを大切にケアをしている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月毎に美容師の来所がある。(夏季は1月に一回を家人に同意を得て実施) 個々の希望に応じていきつけの美容室にてパーマ・毛染めもされている。お洒落の支援により話や笑顔が多く活気が見られる。その人らしいお洒落のコーディネートさせて頂いている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に旬のものや個別のお祝いを取り入れている。好みのものや苦手な物などは聞き入れている。買い物や食事の盛り付け、食器拭きを一緒に行ってもらっている。食事のペースを乱さないよう配慮し、本人用の食器を使用し一緒にテーブルで談話しながら食べている。持病のある方の食事には最大限工夫を行う。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつは一緒に手作りをしたりまた好みの物を聞いている。アルコールは個々の事情で医師と相談しタバコは管理上入所前より本人、家族に禁煙の協力をお願いしている。可能な限りの支援を図っている。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導をしたりその時の体調を把握してチェックをしたり個々に応じた支援を実施している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴を利用者全員に楽しんで頂いている。体調に応じて他の日でも入浴していただき清潔を保てる様心がけ実施している。		
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	休まれる時間を決めず、リビングで過ごしていただいたり、日中も居室で自由に過ごして頂ける様、室温管理等している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様の生活歴を大切に、特技を日常生活に活かして生活して頂いている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所者の力量や希望に応じて自身で財布を持って頂く支援をしている。食材の買い物や個々の買い物等にお出掛けしている。希望があれば職員で買い物代行を行っている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人様の体調やADLのレベルに応じて個別、又はグループ毎に外出や散歩の支援をしている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出計画を作り支援している。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様が書かれた手紙・ハガキを家族様を通じて支援している。電話は希望があれば支援をする。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様の了解を得た上で、訪問者があれば飲物を提供し、入居者様と気楽に過ごせるよう場所の提供もしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-1. (4) 安心と安全を支える支援			
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が理解をしております実践もしている。		
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関には施錠しないで生活をしていただいている。玄関においては利用者の離脱防止の為チャイムを設置。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間はリビングにおられることが多く、居室におられる時は時々様子を見に行っている。夜は4回巡回(室温・安否確認など)している。 常に入居者の状況が把握できるよう見守り声かけできる所として入居者のそばで記録、様子がわかるようにキッチン・リビング等位置づけている。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	状態に応じて見守りの中で援助の方法を考えそれぞれに手渡しをしたり居室内での管理に心がけている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	廊下等には手摺を設置し、玄関にはチャイム設置又、消防訓練は年2回全員参加し、誤薬には特に2人の職員での確認等それぞれに取組を考慮している。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命の講習を受けたりして対応処置をしている。又、日々の連絡網を確認し合っている。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議の時に避難訓練を地域の方と一緒にいき、協力を得られるようにしている。防火・防災に関する事故についてはマニュアル化しており、職員への周知徹底を図っている。避難訓練は消防署依頼し定期的年2回実施している。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	御家族の理解を得、歩行器等を用意して頂いたり暮らし良い対応を理解して頂けるよう話し合っている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックや2週間に一回のホーム医の回診や必要時は専門医を受診する。又、いつも体調の変化に気をつけ、ケース記録やノートに記入し、全職員に申し送りをしている。		
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬管理表や職員間の声かけで服薬確認している。又、薬の使用目的、副作用については申し送りや薬事情報で把握している。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体を動かしていただける様、働きかけをしたり、野菜果物を摂取していただける献立作成に工夫している。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	各個人毎に声かけ、見守り、介助等必要に応じて対応し口腔ケアを実施している。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーバランスを考え献立作成、残飯確認チェックを記入している。水分は一日に幾度か補給したりティータイムを設けている。週一回の体重測定を行っている。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食前、オヤツ前、外出後は必ず手洗いとアルコール消毒をし、何かあればすぐホーム医に連絡している。特に調理担当職員もエプロンを換えている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具や布巾は毎日消毒したりして管理、食材は2~3日に1回購入し、庫内管理は毎日実施している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
		IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり			
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や屋上に花や野菜を作り、近所の方に植替をお手伝いして頂いたりしている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一緒に手作りカレンダーを作ったり季節毎に絵を書いてリビングなど常時、暮らしの中で長時間過ごされる所に掲示している。		
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一緒に話の出来る場所にソファを置いたり少し離れた所に座れる所を設けたりしている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が自宅で使用しておられた物や生活必需品を持ち込みしていただき、居室内でも心地良く過ごして頂ける様に話し合っている。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の清掃時には必ず窓を開いたり換気扇をつけたりしている。室温については温度計等によって確認している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、廊下等は手摺を設けている。廊下においては段差のない様になっている。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の特性を考え、声かけ及び見守りをしつつ暮しの様々な仕事に参加していただいている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りに野菜、植込をして一緒に収穫を楽しみ、成長時には水やり等を一緒にしている。移動が少し困難な方にはエレベーターを使って移動できる様、屋上にも設け楽しんで頂いている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

<理念>

- ・ ゆっくり暮らそ。
- ・ 楽しく暮らそ。
- ・ 元気に暮らそ。

<方針>

- ・ 可能な限りしたいことをしていただく。
- ・ 個々人を人格として尊重する。
- ・ 暖かで良好な人間関係を築く。
- ・ 安心かつ快適に暮らしていただく。
- ・ 個々人の状態、事情、悩みを最大限配慮する。

<指針>

- ・ ふれあいを大切にされた家庭的な雰囲気作りを心がける。
- ・ 個々のペースにあった心地よい生活提供を心がける。
- ・ ご自身の人生を幸せに感じていただけるよう、きめ細やかなお手伝いを心がける。

グループホームでの生活を入居者だけではなく、スタッフも楽しめるような雰囲気作りを心がけ、健全運営を常にしっかり頭に描いて穏やかで楽しい尊厳のある、その人らしい当たり前の生活を保障することを実践したい。

評価結果整理表

個別表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	9 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

理念は業務マニュアルにうたい、全職員に周知している。
また、ホーム内のわかりやすい場所に掲示している。
理念の啓発については運営推進会議を開催し地域住民に説明を行い、地域の行事に参加し地域住民との交流の場で職員が口頭にて伝えたりしてグループホームの役割と理解が広まり、地域に溶け込んでいけるよう日々努めている。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

のんびりと心地よく暮して頂くための家庭的な生活空間作りには職員一同絶えず努力している。
照明や採光、換気や空調などへの配慮も十分に行っている。トイレなど利用する人がわかりやすいような工夫も行っている。花壇や農園も造り、各入居者の経験や趣味などに応じて活動意欲を触発する馴染みの物品も揃えていっている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

アセスメントから個別の介護計画、きめ細やかなケアの実施へと繋げるシステムを構築している。
個々に見合ったケアサービスが提供できている。
定期的なカンファレンス等を通じて、個々の状況に応じたきめ細やかなケアの提供に努めている。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

家族がグループホームでの活動に参加できる機会作りをしていく必要がある。
医療機関との連携については、特に嘱託医との連絡・相談は密に行っている。また、急変時などに入院できる医療機関の確保も行っている。

V サービスの成果に関する項目について

入居者一人ひとりが感情豊かに生活を送れるよう支援している。
また、生きる楽しみから生きていく事への自信を持てるような個々のケアプランを作成し、それを全職員が共有するよう指導している。

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 年 月 日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
7		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	平成20年12月～ 平成20年10月31日	今回もユニットリーダーに自己点検を実施し、その内容をケア会議内で話し合った。	目標設定が明確化した。来年度からは各ユニット内での目標を考案する予定である。	
8		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成20年12月～ 平成20年10月31日	昨年は出来る限り地域でのイベントに参加し、外出の際話しかけてもらえるようになってきている。声かけいただくことによって、利用者・施設に関心をいただけるようになってきている。	運営会議内での質問も増え、近隣からの声かけも増えている。認知症の事を知りたいと七仕掛けられるようになってきている。	
15		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	平成20年12月～ 平成20年10月31日	かめさんニュースを休止し、介護相談員を取り入れた。取り入れる際家族に連絡をし、話せる環境、介護相談員の役目などを記載し、話しにくいことでも話せる環境を作る。出来るだけ、面会者の多い日に相談員に来ていただくようにしている。内容は管理者・各主任が聞きとりを行っている。	介護相談員の認知度が、まだまだ低く、家族からの苦情などは寄せられてこない。時間をかけて介護相談員を浸透させていく必要がある。	